

健康経営優良法人（ホワイト500）に6年連続で選定

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之夕裕美）は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2025」に選定されました。2020年から6年連続での選定となります。



健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。当社は、「健康宣言」を制定し、お客様や地域、社員と家族を愛する会社であるために、社員が笑顔で元気に働くことができる会社作りに日々取り組んでいます。こころと体の健康は、安心安全に働くための源であり、社員とその家族が幸せに生活するために重要なことです。また、人生100年時代が間近となっており、高齢になっても健康でいきいきと働くことが大切だと考えます。

[健康経営に対する主な取り組み]

1. 職場ごとの健康課題に対するスモールチェンジ活動

職場ごとの健康診断結果や生活習慣の状況、ストレスチェック結果を見える化し、業務種別や職場状況との関連性を各職場で分析。それぞれ改善目標を設定し、小さな変化を継続するスモールチェンジ活動を実施することで、健康意識向上を促進しています。

2. 全社員に対し疾病発生を予防するイベント

2024年度も生活習慣改善の動機づけ・習慣づけを目的に様々な健康イベントを開催しました。

医療用体成分分析装置「InBody」を活用したイベントでは、4-6月の初回測定、10・11月の最終測定で結果が改善した個人、参加率の高い部署を表彰し、多くの社員が職場をあげてチャレンジしました。

また、健康的で効果的な歩行姿勢を意識するための「歩行姿勢測定会」も実施しました。歩行姿勢を測定することで自身の歩き方の特徴や改善点を知ることができ、歩行に対し、単なる移動手段から健康づくりの基本として認識する機会となりました。

今後も当社は、社員の健康習慣をサポートする活動を継続し、社員一人ひとりが自ら進んで健康づくりに取り組む会社づくりを進めていきます。